

横田 ゆう

よこた

祐

党足立地区くらし・
福祉・介護の相談室長

いのちとくらしを大切にし
区民にやさしい足立をつくる



プロフィール

- 1961年（昭和36年）1月4日
福島県喜多方市山都町生まれ
- 福島県喜多方女子高校、東北福祉大学
社会福祉学科卒業
- 紫磨園、地域包括支援センターで介護
士、ケアマネージャーとして25年勤務
- 資格：介護福祉士、社会福祉主事、
介護支援専門員など
- 趣味：ガーデニング、音楽鑑賞
- 家族：夫 子ども3人

活動地域

町丁目

舎人1～6 入谷1～9 古千谷本町1～4
伊興1～5、西竹の塚1～2
東伊興1～4、伊興本町1～2
西伊興1～4、谷在家1丁目
竹ノ塚1～4、六月1～3
島根2丁目31～38番

消費税10%増税ストップの審判を
ノーモアふくしま、原発ゼロを

すいせんします

- 早乙女 勝元（作家）西伊興在住
- 渡辺 徹明（俳優）「青年劇場」
- 高橋 昭一（元中島根小学校校長）
- 足立 史郎（竹ノ塚第一団地自治会長）
- 古渡 秀雄（「福祉の家」代表、
福祉用具選定アドバイザー）
- 小倉 正司（元入谷中学校PTA会長）
- 古川よし子（ほくと医療生協理事）
- 池内 政一（東京土建足立建友会会長）



針谷みきお区議のあとつぎとして

- 六月地域では
ぬかが和子区議
- 竹の塚地域では
山中ちえこ区議か
らバトンタッチを
うけて活動します。

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/yuyokota2008>
メール yuyokota2008@yahoo.co.jp

新あだち

新あだち社 足立区日の出町27-3-1130 鈴木秀三郎
2019年1月号外 日本共産党足立地区委員会の見解を紹介します

日本共産党

一歩ずつ区民のねがい実現！

区民運動＋共産党

学校体育館にエアコン設置



共産党区議の質問に区は「学校体育館の冷房化は来年の夏に備え、緊急対策も含めて検討する」と答弁。



火災時に逃げ場のない危険な重層長屋に反対する西竹の塚2丁目の区民とともに共産党区議はワンルーム・重層長屋・シェアハウス等規制条例をつくらせる先頭にたちました。

重層長屋などの規制条例



共産党区議は混雑解消策を質問。区は「1編成を5両から6～7両編成とするよう交通局の経営計画に盛り込むよう要望する」と答弁、混雑解消の展望がみえてきました。

日暮里・舎人ライナー
6～7両編成を都に

舎人・入谷地域の統廃合は中止に

2016年、区教委は入谷南中と入谷中を統廃合する計画案を発表。横田ゆうさんは「学校統廃合を考える会」の結成に参加し、教育長への申し入れも行き、計画案は中止されました。



党くらし・福祉・介護の相談室長



共産党区議団が質問し、実現した主な施策

- 認可保育園3年間に42カ所増設
- 低所得者の保育料無料、4月から完全実施
- 愛の手帳4度の手当、被爆者見舞金の実現
- 住宅リフォーム助成の改善
- 聞こえる防災無線84カ所新設
- 全小学校に図書館司書の配置実現
- 子どもの貧困対策一給付制奨学金制度

ため込んだ基金
1523億円を活用

人間らしく生きられる足立を 横田ゆうの区政政策

竹ノ塚駅高架化とまちづくり

足立区鉄道高架化推進議員連盟副会長をつとめた針谷みきお区議のあとを継ぎ、地域住民の合意がない前沼交差点の改良計画、都市計画道路261号線を見直します。

特養ホームの増設 介護職員の処遇改善

特養ホーム待機者をなくすため、計画的に特養ホームを増やすとともに、高齢者福祉障害者福祉の充実と介護職員の処遇を改善します。



14中で区政報告する横田ゆうさん

がん健診・学校給食費、2つの無料化
介護保険料・国保の負担軽減を
23区でがん検診に3割負担を強い
ている足立区のがん検診を無料に。
学校給食の無料化、教育費の私費
負担軽減をすすめます。
23区一高い介護保険料・国民健康
保険料の負担軽減を図り
ます。

いじめ・不登校なくす 少人数学級の実現を

23区で一番多い不登校、いじめをなくすため、子どもたちにきめ細かな指導ができる35人学級をすすめます。教育の目的は「人格の完成」です。学力テスト偏重から子どもの成長・発達を重視し、学校が好きな子どもを増やします。

税金のムダ遣いをやめさせ 区民生活優先に切り替える

ゼネコン再開発への税金投入などむだ遣いをなくし、区民生活優先の区政運営に転換するよう頑張ります。
認可保育所・学童保育室を増やし、待機児解消の先頭に立つとともに保育の質も大切にするを推進します。

手話で話す
横田ゆうさん

